

医学系研究に関する情報公開文書

|         |  |
|---------|--|
| 研究課題名   | COVID-19病棟における薬剤師の介入が治療薬の適正使用に及ぼす影響  |
| 研究責任者   | 本田 和照  |
| 研究機関名   | 日本赤十字社医療センター   |
| 研究目的と意義 | <p><b>目的</b><br/>                     Coronavirus disease 2019(COVID-19)を対応する病棟での薬剤師業務の報告は少ないです。そのため、上記感染症病棟での薬剤師の介入状況や改善すべき点を把握することが重要となります。</p> <p><b>意義</b><br/>                     COVID-19病棟での薬剤師業務の現状・課題を把握し、今後のCOVID-19病棟での業務はもちろん、その他の新興感染症が流行した際に、薬剤師業務の一助となるようにすることが重要です。</p>   |
| 研究方法    | <p>2019年10月～2020年1月に肺炎と診断された入院症例、2020年2月～2020年10月にCOVID-19と診断されCOVID-19病棟に入院された症例について、電子カルテにより、症例背景や検査結果、治療薬などを調べ、COVID-19病棟での薬剤師の業務状況の検討を行います。主な評価項目は以下の通りです。<br/>                     臨床経過、年齢、性別、身体所見、治療薬、薬剤師介入状況</p> <p>この方法は後向き観察研究で、新たに患者様への負担はかかりません。個人名を消去し、代わりに番号などを付与して匿名化する方法で、統計解析を行います。その結果は、薬学系の学会に公表されることがあります。研究に組み入れられることを希望されない方は、下記担当者にお知らせ下さい。その場合、データ収集や統計解析は致しません。また、参加を希望されなくても患者様への不利益はありません。</p> |
| 問い合わせ先  | 日本赤十字社医療センター<br>〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22<br>担当者：本田 和照<br>TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604   |